



平成 22 年 7 月 29 日

各 位

上場会社名 株式会社 村田製作所
代表者 代表取締役社長 村田 恒夫
(コード番号 6981)
問合せ先責任者 経理部長 小澤 芳郎
(TEL 075-955-6525)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 4 月 30 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(1) 連結業績予想数値修正

平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	税引前 四半期純利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 300,000	百万円 33,000	百万円 35,000	百万円 23,000	円 銭 107.16
今回修正予想(B)	315,000	42,000	46,000	31,000	144.43
増減額(B-A)	15,000	9,000	11,000	8,000	-
増減率(%)	5.0	27.3	31.4	34.8	-
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	255,595	6,100	7,751	4,743	22.10

(注) 当社グループの「四半期純利益」は、米国の「財務会計基準審議会 (F A S B) 会計基準書 (A S C) 810 (連結)」の「当社株主に帰属する四半期純利益」と同じ内容です。

平成 23 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	税引前 当期純利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 590,000	百万円 62,000	百万円 66,000	百万円 44,000	円 銭 205.00
今回修正予想(B)	605,000	71,000	77,000	52,000	242.28
増減額(B-A)	15,000	9,000	11,000	8,000	-

増減率 (%)	2.5	14.5	16.7	18.2	-
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	530,819	26,730	34,658	24,757	115.35

(注) 当社グループの「当期純利益」は、米国の「財務会計基準審議会 (F A S B) 会計基準書 (A S C) 810 (連結)」の「当社株主に帰属する当期純利益」と同じ内容です。

(2) 個別業績予想数値修正

平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 247,000	百万円 8,300	百万円 14,800	百万円 12,000	円 銭 55.91
今回修正予想 (B)	275,000	10,000	16,000	13,000	60.57
増減額 (B-A)	28,000	1,700	1,200	1,000	-
増減率 (%)	11.3	20.5	8.1	8.3	-
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	219,714	1,745	6,300	6,155	28.68

平成 23 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 482,000	百万円 15,500	百万円 28,000	百万円 22,000	円 銭 102.50
今回修正予想 (B)	510,000	17,200	29,200	23,000	107.16
増減額 (B-A)	28,000	1,700	1,200	1,000	-
増減率 (%)	5.8	11.0	4.3	4.5	-
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	459,357	8,080	18,598	16,311	76.00

修正の理由

世界の電子機器市場における主要な機器の生産台数は、今後も、引き続き拡大することが予想されます。このような中、足元の電子部品の需要金額も好調に推移しており、当社の第 1 四半期末の受注残高は、前期末比 14.6%増の 82,050 百万円となりました。依然として、高水準の受注残高を抱えていることから、当第 2 四半期においても、引き続き高い操業度を維持していく予定であり、当第 2 四半期 (累計) の売上高は、当初の想定を上回る見込みです。従いまして、当社は、平成 22 年 4 月に公表した平成 23 年 3 月期の当第 2 四半期 (累計) の業績見直しを見直し、連結業績、個別業績ともに上記の通り、上方修正いたします。

なお、平成 23 年 3 月期の下半期の業績見直しにつきましては、ギリシャの財政危機に端を発した欧

州諸国の信用不安が、金融市場や実体経済に影響を及ぼす懸念があること、またそれに伴い足元の為替が急激な円高方向に振れていることなど、先行きが不透明な状況であることから、現時点では、見直しを行っておりません。

当該予想は、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより当該予想と乖離する結果となりうることをご承知おき下さい。

以 上